



11月例会ご案内 事務局

～町内古墳等草刈り整備～

今年も一年の締めくくりとなる古墳整備の時期がまいりました。
各人の出来る範囲でご協力をお願いします。

日 時 2019年11月17日(第3日曜日)

集合場所 中央公民館・烏土塚古墳

時 間 午前9時に最寄りの場所まで

中央公民館に集合した人は、三里・ツボリ山・宮山塚・宮裏山など各古墳を分担して約2時間作業して頂きます。

☆ 軍手・鎌・竹箒・さらえ等は事務局で準備します。

◇ 作業のしやすい服装でお越し下さい。

◎雨天の場合は 11月24日(第4日曜)に延期します。

午前8時00分に判断します。(小雨決行予定)

確認先 中央公民館内 平群史蹟を守る会事務局

電話 0745-45-2101 葛本 まで

剣上塚古墳整備

11月20日(水)、午後1～3時の間、有志で草刈りを実施します。
午後1時に中央公民館または直接現地に集合して下さい。雨天の場合は
27日(水)に延期します。

※道具類は事務局で準備します。

10月例会報告 [10月20日(日)]

～奈良市北部(佐保・奈良阪)方面の史跡を巡る～

担当/中村・清水

少し残暑は感じるものの、好天に恵まれ爽やかな初秋の奈良市北部方面を歩きました。近鉄奈良駅前から、臨時バスに乗り奈良山御陵バス停で下車、元正天皇陵に向かいました。

最初にこの付近の道路は加茂から奈良まで10キロ東大寺参拝のための鉄道が走っていた。明治31年から40年までのわずか9年間の営業で終わったため現在は「幻の大仏鉄道」と呼ばれているとの説明がありました。

佐保川上流の当地は奈良時代高官の邸宅があった場所であり、また天皇始め多くの貴族の送葬の地でもあった事、さらに奈良と京都を結ぶ奈良阪など交通の要衝であった事などの説明がありました。



出発地の元正天皇陵

次に今日巡る御陵の天皇・皇后の関係を系図で説明し、元正天皇・元明天皇ともに若くして亡くなった文武天皇の後継と見られていた首皇子(後の聖武天皇)が即位するまでの間の中継ぎとして即位した天皇であり、いずれも長屋王・吉備内親王と深い関係にある人物であるなどの説明がありました。

次に、奈良豆比古神社境内の前に建つ奈良阪の高札場(2012年に復元)に立ち寄りました。この場所は、奈良街道と伊勢街道の合流地で交通の要衝であることから、奉行所が住民に守らせねばならない事項を木札に書いたものであり、ここにある高札には、「忠孝の心得」や「毒薬の売買禁止」などが記されているとの説明がありました。



奈良阪の高札場

次は志貴皇子(追尊名:春日宮天皇)や春日王(志貴皇子の子)などを祀る奈良豆比古神社(延喜式内社)に参拝しました。志貴皇子は天智天皇の子であり、光仁天皇の父であるが生涯文人として過ごし、万葉集にも秀作を残しているとの説明をした後、万葉集に詳しい三郷町の森洋子さんから次の2首を紹介していただきました。



境内で辰巳宮司の説明

- 石ばしる 垂水の上の さ藤の
萌え出づる 春になりけるかも (万葉集卷八- 一四一八)
- 采女の 袖吹きかへす 明日香風
都を遠み いたづらに吹く (万葉集卷八- 五一)

春日造りの三神殿は、欠かさず式年造替が行われており、美しい本殿を前に辰巳宮司から能の源流となった翁舞いの起源や、春日王の子浄人王(きよひとおう)が能の力で父の病気を治した逸話などの紹介をいただきました。その後、隣接する資料館で翁舞いに関する資料を見学しました。

なお、奈良豆比古神社の翁舞いは国の無形文化財に指定されており、毎年10月8日に奉納されています。

奈良豆比古神社での昼食休憩の後、当神社裏にある「樟」の木を見学しました。幹周り12.8メートル、樹高30メートルの巨木で奈良県の天然記念物に指定されています。

次の訪問地**植村牧場**では、三代目の黒瀬社長にお出迎えをいただき、当牧場の歴史や、障害者の皆さんを含めた従業員の方の努力で、明治16年以降新鮮な牛乳を毎朝奈良市民に届けているなどのお話をいただきました。その後みんなで名物の牛乳やアイスクリームを賞味しました。



植村牧場でアイスクリームを賞味

般若寺では、二度の戦火の中で唯一焼失を免れた現存する日本最古の楼門を見学した後、コスモスが満開の境内に入りました。高さ14メートルの十三重石塔や、文殊菩薩騎獅像を祀る本堂を見学しました。また当日は秘仏特別公開の期間で、1946年の解体修理の際十三重石塔から取り出された地藏菩薩立像や金銅舍利塔、水晶五輪塔などの秘仏も見学しました。



コスモスが咲き誇る般若寺



北山十八間戸で説明する中村さん

奈良阪を下り、鎌倉時代に忍性がハンセン病患者救済のため創設したとされる**北山十八間戸**を見学し多聞山城跡に向かいました。

多聞山城跡は、現在若草中学が建ち往時の威容は全く感じることは出来ませんが、1560年大和の梟雄といわれた松永久秀が大和平定のために築いた城といわれ、多門櫓を有し天守は四階層で豪華・堅牢なものであった。松永久秀が多聞山城撤退後、織田信長が安土城築城の際、城の一部を移築させるなど近世の城郭にも大きな影響をもつ城であったと思われるなどの説明がありました。

その後、多聞山城跡に隣接する**聖武天皇陵、光明皇后陵**を見学しました。聖武天皇は左大臣であった長屋王と対立し、長屋王の変が起こり、その後の天平の時代は、遷都を繰り返すなど元号とは裏腹に不安定な時期であったが、聖武天皇は精神的支柱を

仏教に求め、諸国に国分寺・国分尼寺の造営や大仏の建立を命じるなど仏経心の厚い天皇であった。また光明皇后は、聖武天皇退位後娘の孝謙天皇が即位すると、その背後にあって権勢を振るったといわれている。また聖武天皇の死後遺品を東大寺に寄進し、宝物を収める正倉院が創設されたほか、興福寺・法華寺・新薬師寺などの寺院の創建に関わった。

天皇陵・皇后陵とも多聞山城が築城される際大きく変形し、幕末から明治始めにかけて修築され現在の御陵の形を整えたものとみられるなどの説明がありました。



聖武天皇陵で説明する中村さん

例会は15時30分頃終了し、三々五々近鉄奈良駅に向かいました。
10月例会は、森洋子会員にも協力をいただき、中村と清水が担当しました。
(当日の参加会員36名、当日会員2名)

●重要文化財 藤田家特別公開に伴う整備への協力をお願い

11月3日(文化の日)に重要文化財「藤田家」が特別公開されます。
当日は平群町観光ボランティアガイドの会の案内があり、平群町内外から多くの見学者の来訪が予想されます。当会は例年通り事前の清掃活動に参加したいと思います。

下記の日程で行われますのでご協力をお願いします。

- ・日 時 : 10月31日(木)9時～11時
- ・集合場所 : 藤田家
- ・作業道具は事務局で準備します。飲み物等は各自でご用意ください。

機関誌『烏兔第97号(2020年3月発刊)』原稿募集

下記要領で会員皆様の原稿を募集しています。親しみやすい機関誌にするために皆様の声をお寄せください。

- ・原稿内容 : 例えば例会や行事参加報告、史跡見学記、個人旅行記、趣味、随筆など、特に制限はありません。
- ・原稿の字数 : 400字詰め原稿2～5枚程度(相談に応じます)
- ・締め切り : 2019(令和元)年12月末
- ・提出先 : 河本または最寄りの役員まで